

ジャステイス新潟

不変の正義と民主化された労働運動を求めて！

第 6 回中央委員会

民主的労働運動を次代に引き継ぐため変革を
巻き起こし組織拡大に全力で取り組もう！

2月10日、港区勤労福祉会館において、「第6回中央委員会」が開催され、この間の運動の検証と成果を確認し、これから推し進める活動方針を全体で意思統一した。



中央執行部を代表して挨拶に立った菅野委員長は、組織関係、安全への取り組み、2020春季生活闘争について述べ、「私たちが目指したのは今の労政状況ではなく、会社を考え働く仲間を考えた民主的労働組合の創造であり継承」とし、そのためにはJR東日本の最大労組になるしかないと訴えた。

質疑では新潟地本からは3名の委員が以下の発言を行った。「設備部門において安全安定輸送を確保するため、どのような要員体制で設備の維持管理をするのか、詳細な部分を会社と議論されたい」



「イースト色を活かした要求や活動の展開を」「若手社員には、会社施策に対して将来への不安感が増しているように思う。『JR連合ビジョン』などを組合未加入者に理解してもらい、私たちの思いを結実させるため取り組む」



集約答弁では菅井事務局長が、「組合未加入者には労働組合の意義を、会社には進むべき道、私たちとともに進むべき道を、私たちが示していこう」と締めくくり、参加者全員の賛同を得て委員会を終了した。



大根原踏切事故 慰霊碑へ献花

2月2日、新潟地本では平成23年2月1日に発生した「大根原踏切事故」の現場に赴き、慰霊碑に花を手向け、亡くなられた方へのご冥福を御祈りするとともに、二度と同種の事故を起こさないことを誓って参りました。

今年の事故現場は雪も少なく、当時の様子を想像することも難しい状況でした。係員による連絡の不徹底で起きたこの事故を、各自が胸に刻むとともに、改めて安全第一を意識して作業に取り組まれますようお願い致します。【新潟地本執行部】

申5号「賃金引き上げの要求」

- 賃金引き上げについて
 - 定期昇給を実施すること。
 - 2020年4月1日の定期昇給後の基準内賃金を、一人平均3,000円引き上げること。
 - エルダー社員及び契約社員についても、社員に準じて賃金を引き上げること。
- グループ会社に対する契約単価を見直し、グループ会社社員の賃金引き上げに寄与すること。
- 上記申入れに対する回答期限を、令和2年3月12日までにすること。

申6号「諸労働条件改善の要求」

- <就業関係> 4項目、
- <賃金関係> 3項目、
- <退職手当関係> 2項目

新春の集い 2020

今年もよろしく お願いいたします！

ご来賓の皆様
お忙しいなか
ありがとうございます



上杉 知之
県議会議員



連合新潟
小林 俊夫
事務局長



渡辺 和光
県議会議員



小島 晋
県議会議員



西労組金沢地本
沓掛 勇介
執行委員長



市川 政広
民社協会代表



中央本部
国井 道徳
執行副委員長



交運共済東日本
松井 正義
本部長



船山執行委員長の音頭で乾杯！



J R 西労組金沢地本からも
景品をいただきました。
ありがとうございます。



豪華景品の数々（実は玉石混交？）
今年の進行役は営業部会の皆さんに
担っていただきました。
お疲れ様でした。

毎年の恒例となりましたジェイアール・イーストユニオン新潟地本の「新春の集い」が、1月11日に万代シルバーホテルにおいて、ご来賓やOBの方など含め、約80名の参加者で開催されました。地本を代表し挨拶に立った船山執行委員長が熱意のこもった今年の抱負を述べ、ご来賓の方々からは激励の言葉を頂戴しました。「集い」には、新潟地本の民主化支援組織であるJR西労組金沢地本からも、沓掛執行委員長をはじめ青年女性委員会の委員長と副委員長にお越しいただき、連帯の力をいただきました。「集い」のメインである「お楽しみ抽選会」には今年も小玉さんから「魚沼産コシヒカリ」の提供を受け、番号が読み上げられるたびに歓声があがっていました。楽しいひと時を過ごすとともに、組織課題の克服を新たに誓う一日となりました。

